

韓 国 語

第 1 高等学校教科担当教員の意見・評価

1 前 文

問題の形式は共通テスト(1)の試験と同様であり、第 1 問への評価は省略する。一つ大きく違うのは、第 4 問の長文の内容が、共通テスト(1)の試験のように難易度の高いものではなく、比較的分かりやすい内容であり、解きやすかったのではないだろうか。

本委員会では、平均点を基にした評価は行わず、「高等学校で 4～5 単位を 3 年間学習した生徒」が受験することを想定して各問題の評価を行う。また、その際の難易度の基準として、中級水準となる、韓国語能力試験 (TOPIK) のⅡ (3～4 級) 及び「ハングル」能力検定試験の 3 級～準 2 級、CEFR B1～B2 レベルを想定していることをここに明記する。

2 試験問題の内容・範囲等

共通テスト(1)の試験同様、前文の「高等学校 4～5 単位を 3 年間学習した生徒」の学習到達度を測ることのできる問題であるかどうかを判断した。また、紙面の制限上、第 1 問及び第 2 問については、適切な問題とは言えない問いを中心に取り上げることとする。

第 1 問

A 発音に関する問題

問 2 は、「첫인상」の誤答の選択肢が[처신상]であれば適切な問題であったと思う。「첫인상」を[처딘상]ではなく、[처신상]と発音すると聞き取れない可能性があり、学習範囲内の語彙、発音規則で適切な問題と言える。ただ、誤答の選択肢[천년상]は、「첫여름」を[천녀름]と変化して発音することを知っている生徒等がかえって惑わされやすい問題であり、適切な問題とは言えない。

B 適切な助詞、語尾、語彙を選択する問題

問 8 の正答の「통에」は学習範囲外の語法であり、適切な問題とは言えない。問 8 以外は学習範囲内の語彙や文法であるが、その知識のみを問う問題の出題には疑問が残る。

C 類似した意味を問う問題

学習範囲内の語彙や文法であるが、B 同様、その知識のみを問う問題の出題には疑問が残る。

第 2 問 比較的長い会話文を読んで、空欄に入れる適切な表現を選んだり、会話文の内容を把握したりする問題

A 韓国の有名な詩人についての発表準備をするに当たって相談している様子を表した対話文。以前は、2～3 往復程度の対話文から出題していたものが、比較的長い対話文からの出題となっている。長い対話文に文法の問題を入れ込むなど、大学入試センター試験 (以下「センター試験」という。) とは違った工夫が見られる。

問 1 共通して入る適切な語尾を選ぶ問題。対話文や長文の中に文法問題を入れて出題してほしいという以前からの評価委員会の要望が採用された。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問 2 空欄に入れる適切な表現を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問 3 会話の内容を基に、これから準備する発表の内容を類推する問題。思考力を問う問題

で適切な問題と言える。

問4 本文の内容と合うものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。
B テレビの料理番組での対話文。以前は、2～3往復程度の対話文から出題していたものが、比較的長い対話文からの出題となっている。

問1 調理に関する対話文から含まれていない材料を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問2 指示された語が表している内容を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問3 空欄に入れる適切な文を選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問4 イラストを使用した問題は適切な問題ではあるが、そのイラストが分かりにくいと適切な問題とは言えない。火がついているか、いないかが、イラストでは少し分かりにくく、その点が残念である。

問5 本文の内容と合うものを選ぶ問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

第3問 今までは、1～2問程度しか出されていなかった図表やイラストを使用した出題が、第3問では全ての設問（計5問）において図表やイラストを使用し出題された。これも評価委員会が、図表やグラフ、イラスト、広告などから情報を読み取り解く問題を出題してほしいと要望していたことが採用されたと言える。

A 図表が何を表しているか読み解く問題

問1 1日のスケジュールから情報を読み取る問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問2 韓国を訪れた観光客の韓国料理の好みに関する調査結果を表したグラフから情報を読み取る問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

問3 韓国の人口構成を表したグラフから情報を読み取る問題。学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

B 風邪の症状のときに飲む薬の説明書を読んで問いに答える問題。日常的によく使う語彙・表現で、課題文・各問とも適切。

C ミュージカルの公演に関する広告文を読んで各問に答える問題。公演日時や公演場所、価格、発券方法、観覧案内、割引情報など、高校生にとって身近なテーマで語彙・表現も適当。

第4問 長文の読解問題。共通テスト(1)とほぼ同じ分量のエッセイが出題されたが、共通テスト(1)の長文と比べると高校生にとって親しみのある、理解しやすい内容となっている。動物の行動学を研究している筆者が、最近SNSに投稿されているペットの写真に不快を感じているという冒頭部分から、動物の自己認知に関する研究成果を基に、ペットの意識や感情を尊重した上での社会的な交流を促している。誰もが目にするネット上の動物やペットの写真を題材にしており、韓国語の教材としてのみならず、メディアリテラシー教材としても使用可能な長文である。

問1 漢字語のハングル表記を問う問題。共通テスト(1)の長文問題と同様、センター試験では別個の大問であったものを長文に挿入した。問題形式、及び、扱っている漢字語の難易度、双方とも適切である。

問2 「休みの日も私は常に犬のことを考えている。() 犬たちは私の目に触れるこの社会のいたるところにいるためだ。」() に挿入する適当な韓国語を選ぶ問題。正答は①
그도 그럴 것이. それもそのはず。適切な問題。

問3 文中の下線「ある存在を尊重しない行為」が何を指しているか問う問題。正答は②「犬

が嫌がるのに、無理やり可愛らしく飾ること」。適切な問題。

問4 文中に挿入する適切な副詞を選ぶ問題。正答は①여전히（依然と）。適切な問題。

問5 文中に入れる語彙を選ぶ問題。「しかし、犬の姿を描きたいなら、人間の声と欲望を反映する代わりに、犬の（ ）姿を見せなければならないと思う。」正答は、③자연스러운（自然な）。適切な問題。

問6 文中の2つの「재미있는 개（面白い犬）」が指し示すものを選ぶ問題。正答は、①「携帯電話を持っている犬」と「雪の上を転げまわる犬」。適切な問題。

問7 文中の우리（我々）が指し示すものを選ぶ問題。正答は⑥。適切な問題。

問8 本文で記載されている動物の自己認識実験について具体的に理解できているかを問う問題。鏡の実験と匂いの実験に分けて問うている。適切な問題。

問9 文中に、「このような姿を見る楽しさは、何より犬の豊かな感情表現を見ることにあるであろう」という一節を挿入する問題。適切な問題。

問10 本文の内容と合う文章を選ぶ問題。分かりやすい適切な問題。

3 ま と め

第1問～第3問の出題形式や難易度は共通テスト(1)の試験とほぼ同様であったと言える。第4問については、共通テスト(2)の問題の方が解きやすかったと思われる。これは共通テスト(1)の長文の文章が抽象的で難易度が高かったためだと思われる。

共通テスト(1)と同様、以前のセンター試験に比べ、1つの長文に関する問いの数が増え、じっくりと文章を読むことができるようになっている。これは以前より、評価委員会が提案してきた事項であり、問題作成部会がこれを反映させてくださったことは、良い方向であると思う。全体的に、全ての問題が、様々なコミュニケーションを想定した素材を扱っており、高校生の外国語学習の到達度を測るテストとして一定程度評価できるのではないだろうか。可能であれば、共通テスト(1)のまとめでも指摘したが、第1問、第2問の問題形式を、「英語」の試験問題と同様に第3問以降の様々なコミュニケーション素材を扱った問題に挿入していただくのが良いと考える。

いずれにしても、今回の大学入学共通テスト移行に際し、多くの点での改善点が見られたことは評価に値すると思う。今後とも本委員会の評価を踏まえ、良質な問題を作成していただくことを希望する。

第2 問題作成部会の見解

1 出題教科・科目の問題作成の方針（再掲）

- 英語以外の外国語については、大学入試センター試験の枠組みを受け継いだ『筆記』テストを課し、「リスニング」テストは実施しない。
- 教科としての外国語科の目標である「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」に基づき問題作成を行う。
また、実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視する。
- 問題作成に当たっては、CEFR等を踏まえた力を問うことをねらいとして作成する。
その際、大学教育の基礎力を踏まえ、また、高等学校において英語以外の外国語を初めて履修する者もいることを考慮し、問題作成を行う。

2 各問題の出題意図と解答結果

ここでは各問題を出題した意図のほか、個々の問題に関する意見についての問題作成部会の見解を述べておく。

第1問は発音問題である。

Aは発音変化に関する問題である。問1は流音化と、鼻音化の知識を問う問題で、問2は複合語における終声の初声化と、激音化の知識を問う問題である。

Bは語彙と文法の知識、及び、日本語と韓国語の表現の違いを問う問題である。語彙に関する問題は、単にある語彙を知っているか否かを試すのではなく、具体的な文脈において動詞・形容詞や名詞・副詞などの単語が、他の単語とどのように共起し、いかなる意味を実現するかを問うものを出題した。文法の出題に関しては、偏らないように配慮して語尾や助詞の用法を問うものを出題した。表現に関する問題は、単語や句・節単位での類義表現を問うものや、一対一の直訳でない韓国語としての自然な表現を問うことに重きを置いた。全体的に、日本語母語話者にとり、学習の要点となる事項に重きを置いた出題となるよう心がけた。

Cは類似表現に関する問題で、語彙や表現を他の語彙や表現に置き換えることができるかどうかを問うた。単語や句・節単位での類義表現を問うものや、韓国語としての自然な表現を問うことに重きをおき、全体的に、日本語母語話者にとって、学習の要点となる事項に重きを置いた出題となるよう心がけた。

第2問は、日常生活でよく使われる表現を素材に、文脈に沿って対話を完成させる問題と、対話の内容を理解し状況を把握する問題を中心に、問題を作成した。全体的に使われている単語自体は難しくないが、状況を正しく把握する能力が要求される。

Aは、授業の発表準備をしている高校生の対話を読み、その内容を正確に理解できているかどうかを測る問題が中心である。

問1は、文脈に照らして、2つの空欄（アイ）に共通して入る適当な終止形語尾を選択する問題。選択肢にはいずれも話しことばに特有の語尾を配置した。正解の㉓には、「…だったよ」という話し手の体験を述べたり（主体は第三者）、過去から現在に至る持続的な感情や心理状態を表したり（主体は話し手）する用法があり、アは前者、イは後者の用法である。正答にたどり着くには、双方の用法を知っていることが必要となる。

問2は、会話の前後の流れを正しく把握した上で、文脈に相応しい表現を選ぶ問題。空欄の前

後の内容を理解できていれば自ずと正答を導き出せる問題で、難易度は高くない。

問3は、会話全体を理解した上で、「発表の内容に含まれないと考えられるもの」を推察して選ぶ問題。

問4は、本文の内容と一致するものを2つ選ぶ問題。曖昧な選択肢や推察力が要求される選択肢はなく、本文が正確に読めていれば解ける問題であった。

Bは、テレビの料理番組でのやりとりについて、話の流れや内容を理解しているかを問う問題が中心である。調理法に関して比較的長い対話を読み、内容全体から見た対話の流れの把握が必要である。

問1は、料理の材料に含まれていないものを選択する問題。

問2は、特定の発話が意味することを推測する問題。調理師の直前の発話から正答を推測する。

問3は、空欄に入る発話を選択する問題。本文の内容と特に直前の調理師の発話から推測する。

問4は、本文の内容とイラストを読み取って選択する問題。イラストになっている調理の過程の空欄に入るイラストを選択する。

問5は、内容一致の問題。本文の内容を正しく読み取って、本文の内容と一致するものを選択する。

第3問 表やグラフ、案内、広告文など、日常生活で目にし得る素材を読み、その内容理解を問う問題である。

A 日課表やグラフを読み、その内容を正確に把握する問題である。問1は、日課表の内容と一致するものを選ぶ問題であり、日課表に23:00から睡眠となっているので、③が正答である。宿題は夕食後ではなくテレビ視聴及び休憩の後なので②は誤答となる。問2は、グラフから読み取れるものを選ぶ問題であり、グラフにおいて外国人の好きな韓国料理の中でビビンパ以外は全て肉類なので、②が正答である。問3は、グラフから読み取れることとして適当でないものを選ぶ問題であり、グラフにおいて、満20歳未満の人口は19.3%で満60歳以上の人口は19.8%なので、④が正答である。

B 薬の取扱いに関する説明書を読み、その内容を正確に把握する問題である。問1は、この薬をいつ飲むとよいかを選ぶ問題であり、案内文の中の効能・効果を見ると、咳、熱、鼻水、頭痛とあり、この薬が風邪薬であることが分かるので、②が正解となる。問2は、本文の内容と一致するものを選ぶ問題であり、注意事項に薬を他の容器に移さないように書かれており、また、副作用の項に眠気が生じる可能性があること、そして運転を控えるように書かれているので、①と③が正解となる。

C ミュージカルの公演広告文を読み、その内容を正確に把握する問題である。問1は、希望する公演を観覧できるものを選ぶ問題であり、広告文において、発券する際、予約番号あるいは携帯電話番号を入力するように案内しているので、④が正答である。①や③は、交通事情により公演の観覧ができなくなった場合も変更および返金はできないとの案内があり、また、チケットの受領については現場発券のみ可能で、郵送サービスはしないという案内があるので、いずれも誤答である。問2は、本文の内容と一致しないものを選ぶ問題であり、水曜日以外は、毎日14時と19時の2回公演をするという説明があり、また、2階には手すりも設置されており、視野が制限される場所があるが、座席販売をしないわけではないので、①と⑥が正答である。

第4問 犬の行動や認知についての研究に関する文章を読み、その内容を理解する問題である。

問1 ハングル表記された漢字語の漢字表記を問う問題。昨年度までの大学入試センター試験にはなかったタイプの問題である。

問2 前後の文脈から判断して、入れるべき適当な文言を選択する問題。選択肢はいずれも「그」で始まり、一見すると紛らわしそうに見えるが、文脈から判断すれば①「그도 그럴 것이」が正答であることが分かる。

問3 下線部が指す内容を問う問題。本文の内容と趣旨が合い、本文で言及された行動である②が正答である。

問4 前後の文脈から判断して、入れるべき適当な副詞を選択する問題。正答は①「여전히」。

問5 前後の文脈から判断して、入れるべき適当な形容詞の連体形を選択する問題。空欄の部分から、人間の欲望を反映させた犬の姿ではないものという意味で述べているので、正答は③「자연스러운」となる。

問6 本文にある2つの「재미있는 개」の内容を問う問題。㉓が意味するのは人間のようなポーズをとっている犬のことで、㉔は自然な様子の犬のことであるので、①が正解である。

問7 本文にある3つの「우리」の内容を問う問題。(あ)は犬の実験をした筆者と同僚、(い)は相異なる者同士が同じ家で生活することについて驚くということから人間と犬、(う)は人間の経験だけが繁栄された様子を見るより彼らを感じることを理解するということから人間であるため、⑥が正答である。

問8 本文に書かれた実験内容を問う問題。「거울 실험」の内容は第4段落に、「냄새 실험」の内容は第5段落にそれぞれ書かれている。本文の内容と一致する正答は④である。

問9 ある1文を文中のいずれかの位置に入れる問題は、当該の1文を入れるために、文脈を正確に読み解く力が必要である。文脈に合う正答は④である。

問10 文章の内容を問う問題。文章全体の内容を把握していることが求められる問題である。正答は①と④である。

3 出題に対する反響・意見等についての見解

大学入学共通テスト初年度となり、より実践的なコミュニケーション能力を重視した問題するために、漢字の読み方を単独で問う問題をなくすとともに短文を提示した文法問題を減らして、その代わりに新しい形式としての実用問題を新設し、長文の中に漢字の問題や文法問題を組み込むなどの工夫を行った。

第1問に関しては一部の誤答の選択肢が不適切であるという御指摘を頂いた。御提案の誤答にするともあまりにも簡単すぎるという理由で選ばれた選択肢であるが、今後更に検討したい。第2問については、イラストが分かりにくいという御指摘を頂いた。今後は更に分かりやすいイラストを作成するように心がけたい。

そのほかの問題に関しては、長文問題を含めておおむね学習範囲内の語彙や文法で適切な問題であるという評価を頂いた。また、高校入学以降の学習者にも十分解ける問題であると評価されたことは大変喜ばしい。今後もより一層良質な問題の作成を目指していきたい。

4 ま と め

大学入学共通テスト開始に当たって実用問題を取り入れるなど新たな取組がなされたが、まだ課題はある。実用問題については題材や形式について、様々な可能性がある一方で、大学入試の問題としてどこまで許容されるかという問題もあり、今後も議論していかなければならないだろうし、長文問題をどうしていくか、問題文を短くしたものを幾つか出題して、様々なジャンルの文章を出題できるようにするかも検討課題である。また、問題作成を経るうちにどうしても文章が長くなる傾向があるので、全体の分量に常に留意する必要がある。

使用語彙や文法項目については学習範囲であると評価されたので、今後もこの方針を維持していく。